

根子岳ハイキング（東峰）

【報告者】N谷

【日時】2018年12月15日

【天候】晴れ

【参加者】N谷、Y子

《コースタイム》

大戸尾根登山口 10:15～東峰 12:15～大戸尾根登山口 13:45

《 報 告 》

いつか登ろうと思っていたが、なかなか行けずにやっと登れたシリーズ『根子岳』。季節は12月中旬で阿蘇といえばとても寒いイメージが。。朝、車の温度計は0℃。防寒具をしっかり用意して赤牛が出迎える大戸尾根駐車場に着いたのは10時前。全然寒くない。根子岳は快晴の中にその勇壮な姿を見せてくれていました。

登り始めてすぐに下山する方にお会いしましたが、お尻もザックも泥で汚れておりました。聞くと登山道がずるずるで滑りやすいとの事。登り始めるとその理由が分かりました。登山道ははっきりとして迷う事はありませんが階段状に整備されている場所はなく、霜柱が解けた泥土の急斜面はずるずると滑ってこけそうになる連続です。左右の立ち木や草につかまりながら結構必死で登って行きました。

標高差600mでしたが、降雨後・降雪後などもこの道ではかなり消耗が激しいと感じました。標高1408mの東峰山頂からは快晴という事もあり360℃の素晴らしい阿蘇エリアが一望出来ました。霧氷は山頂の北側のみに残っていましたが、この日の暖かさでどんどん溶けておりました、残念。

下山道は登りよりも更に大変な状態。滑りまくりです。。下山中、宮崎と鹿児島から来た18人のパーティーと狭い登山道ですれ違いましたが、高齢の方ばかりですれ違いに時間が掛かるというか足元がおぼつかないというか、とても心配でありました。。

下山時の感想は好天で根子岳の雄姿が見れて良かった、寒くなくて良かった、でもずるずる道はもう嫌だという思いでした。

下山後は11月のHSさんの報告書を参考に上色見熊野座神社を参拝し温泉に入って疲れを癒しました。

やはり阿蘇は素晴らしかったです。

